

3 学 年 の 実 践

1. 単元名 大くら大すき！ 3年生 ～いいところいっぱい 大くらたんけんたい～

2. 指導観

○ 本単元は、「保護者や地域の方へ私たちが見つけた大蔵のじまんを伝えよう。」という課題のもと、大蔵のいいところ(じまん)を探し、まとめていくという活動を通して、大蔵の自然や文化、また人々とのかかわりを深め、大蔵のまちに対する親しみや愛情を育んでいくことをねらいとしている。このことは、新学習指導要領に新たに示された「地域の人々の暮らし、伝統と文化に関する学習活動」にあたるものであり、その主旨に沿うものであると考える。本単元を設定した意図は、次の通りである。

- ① 「保護者や地域の方に私たちが見つけた大蔵のじまんを伝えよう。」という学習課題を設定することにより、活動目的が明確になるとともに、子どもの活動意欲の喚起と表現活動の広がりが期待できる。
- ② 大蔵のいいところ(じまん)を予想し確かめる活動を学習の柱にすることで、問題解決の諸能力が育成できる。また、地域のよさを自分とのつながりで考えさせていくことで思考場面の設定が可能となり、生きる力につながる考えの変容を促すことができる。予想される大蔵のじまんとしては、人(見守り隊)、もの(大蔵川の自然、ホテル、味の源、天心、湧き水)、事(祭り)が考えられる。
- ③ 大蔵のまちのよさを追究することは、自分自身の目で地域を見直す契機となり、身近な人々とのかかわりの中で地域を思い、大切にしようとする心情が育まれることが期待できる。

このように、地域における子どもたちの主体的な活動を通して、見学や聞き取り調査など課題に沿った方法を用いたり表現方法を工夫したりして、問題解決能力や創造的態度の育成を図っていくようにしたい。その上で、大蔵のまちやそこに住む人々とのかかわりを深め、地域に対する関心や愛情を深めさせるようにしたい。

○ 指導にあたっては、一人一人の子どもたちの確かな問題解決力を育成するため、学習課程の各段階において、次のような具体的な手立てを講じるようにする。

- ① 「出会う・見通す」・・・自分で大蔵のじまん探しを行い、なぜじまんとなるのか理由も書かせ、クラス全体で大蔵のじまんについて話し合う。このことで、自分の知らなかった大蔵のまちのよさに気付かせ、さらに興味を持たせるようにする。その後、自分のテーマを決めさせ、個人による追究活動を行う。その際、地域の人々とのかかわりを重視し、見守り隊を発足し活動を行っている方など、調べる対象に精通した方々への調査活動を仕組む。人々の思いや願いにしっかりと耳を傾け、とらえさせていくことで、対象とのかかわりをより密にしていくようにする。
- ② 「探る」・・・自分が調べて分かったことを、それぞれが四つ切り画用紙一枚にまとめていく。調べたことを発表し「大蔵のじまん」について考える活動では、発表を聞いてなぜそれがじまんになるのかを十分考えさせ、大蔵にはたくさんのじまんがあることに気付かせるようにする。その後、調べた大蔵のじまんを誰に伝えたいか話し合い、地域の方や保護者に伝えようという学習問題を設定する。
- ③ 「深める」・・・個人で調べたテーマをもとに、グループ編成を行う。自分たちが調べた大蔵のじまんを、地域の方や保護者に分かりやすく伝えるためには、どのような方法で伝えたらよいか、自分たちのテーマと関連付けながら、伝える方法を考えさせるようにする。

各グループの中間発表を聞いての感想や改善点を話し合う活動では、形式的なものだけにとどまらず、地域に対する関心や愛情を深めるために、内容に関わること(じまんの理由・一人一人のこだわり)に目を向けさせるようにする。

- ④ 「生かす」…学習を振り返り、人々の大蔵のまちに対する思いや願いに気付くとともに、地域の一員として、地域に対する関わりへの自覚を喚起する。

3. 単元の目標

| | |
|--------------------|--|
| 問題解決への 関心・意欲・態度 | ○ 大蔵のまちのよさや特色について関心を持ち、大蔵のじまんと言える根拠を進んで調べたり、目的に合うように表現方法を工夫しながら調べたことをまとめたりしようとする。 |
| 学び方や 問題解決の力 | ○ 地域の人々にインタビューしたり、まち探検をしてじまんとなる写真を撮ったりしながら、情報を収集、選択することができる。 ○ 地域の人々へのインタビュー活動や観察、調査を行い、大蔵のまちの人、もの、ことと直接かかわりながら、見通しを持って問題解決に取り組むことができる。 |
| 考える力・表現力 | ○ 保護者や地域の人々へ発信するという目的に沿って、よりよく伝えるための効果的なまとめ方や表現方法を工夫することができる。 ○ 大蔵のまちのじまん探しを通して、分かったことを関連付けながら、そのよさや特色について考えることができる。 |
| 自分への 気付きと生き方 | ○ 地域における調査活動や作品作りを通して、人々とのかかわりを深め人々の大蔵のまちに対する思いや願いに気付くとともに、自らの生活を見直し、地域の一員としての自覚を持つことができる。 |

4. 学習指導計画(総時数 58 時間)

| | 主な学習活動 | 教師の支援 | 評価の観点・方法 |
|-------------|--|--|--|
| 出 会 う | 1. 大蔵のまちのじまんについて話し合う。 ④ (1) 大蔵のまちのじまんで書く。 (2) 大蔵のまちのじまんについて話し合い、自分がもっと調べてみたいことを決める。 <大蔵のじまん> 人(見守り隊), もの(大蔵川の自然, ホタル, 味の源, 天心, 湧き水), 事(祭り)など | ○ これまでの活動や体験を基にイメージさせ、じまんとそのわけを書かせる。 ○ 2学年時の生活科の学習や1学期の社会科の学習を振り返り、大蔵のまちへの興味を膨らませる。 | 【関】社会科学習のふり返りを基に、大蔵のまちのじまんについて関心を持ち、調べたいことを意欲的に見つけている。 ・大蔵のまちの「じまん」を見つけ、そのわけも書くことができる。 (ワークシート・行動観察) ・大蔵の「じまん」を話し合うことで、地域への関心を高め、調べたいことを決めることができる。 (発言・ワークシート) |
| | 大蔵のじまんで調べよう。 | | |
| | 2. 自分の課題(テーマ)にもとづいて、調べ活動を進め | ○ 自分の思いにこだわりの持たせ、学習計画カード | 【考】自分の課題に沿って解決の見通しをもって活 |

| | | | |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 見 通 す さ ぐ | <p>る。 ㉔</p> <p>(1) 学習計画を立てる。</p> <p>(2) 地域の人(ゲストティーチャー)の話を聞く。 ・土佐野さん：大蔵川の自然 ・円城寺さん：見守り隊</p> <p>(3) 調べ活動を行い、個人でまとめる。</p> <p>(4) 調べたことを発表し、「大蔵のじまん」について考える。</p> | <p>を使い、具体的な活動計画を立てさせるようにする。</p> <p>○ ゲストティーチャーと話の内容を打ち合わせておく。</p> <p>○ 取材活動では、自分が何を知りたいか、どう聞くかはっきりさせられるようワークシートを工夫する。</p> <p>○ 必要に応じて施設等の見学をする。</p> <p>○ 発表を聞いて、なぜそれがじまんになるのか考えさせ、大蔵にはたくさんのじまんがあることに気付かせる。</p> | <p>動計画を立てている。</p> <p>・自分の課題を持ち、活動計画を立てている。 (行動観察・ワークシート)</p> <p>【学】目的に応じた方法で課題を解決するための情報や資料を収集・選択している。</p> <p>・自分の課題を持ち、課題を解決するための情報や資料を収集・選択している。 (行動観察・ワークシート)</p> <p>【考】友だちの発表から大蔵のじまんを見つけ、それがじまんである理由を考えることができる。</p> <p>・発表内容から大蔵のじまんを見つけ、友だちの意見を参考に、じまんとなる理由を考えることができる。 (行動観察・ワークシート)</p> |
| <p>学習問題 大蔵のじまんを調べ、保護者や地域の方に伝えよう。</p> | | | |
| る 深 め る | <p>3. 大蔵のじまんとを、保護者や地域の方に伝える。 ㉕</p> <p>(1) グループで伝え方を考える。</p> <p>(2) 準備を行う。</p> <p>(3) 中間発表を聞いて、感想や改善点について話し合う。</p> <p>(4) 保護者や地域の方への発表会へ向けて準備を行う。</p> | <p>○ 伝える相手を意識させ、どんな表現方法が大蔵のじまんが伝わりやすいか考えさせる。</p> <p>○ 発表する人も聞く人も「3つのじまんは何か」ということを意識して話し合わせる。</p> <p>○ アドバイスを基に、友達と協力して準備をさせるようにする。</p> | <p>【考】伝える相手を意識して、表現方法や内容を工夫している。</p> <p>・グループで話し合いながら、ふさわしい表現方法や内容を工夫している。 (行動観察・発表資料・ワークシート)</p> <p>【考】より分かりやすくじまんとを伝えるための内容や表現方法を考えている。</p> <p>・他グループの意見に対して、自分なりの考えを持ったり伝えたりしている。 (発言・ワークシート)</p> <p>【考】アドバイスを基に、大蔵のじまんがよく伝わる表現方法を工夫してい</p> |

| | | | |
|-------------|---|---|--|
| 生 か す | <p>4. 「大蔵のじまん」を伝える。⑦</p> <p>(1) 発表会を行う。</p> <p>(2) 家の人を考える大蔵の自慢ベスト3を見て、自分たちの考えるじまんとの共通点や相違点を考える。</p> <p>(3) 自分たちの活動を振り返り、大蔵に対する思いを明らかにしていく。</p> | <p>○ 活動への達成感や次の意欲のために、感想用紙を準備する。</p> <p>○ 保護者に依頼したアンケートをもとに、児童が気づけなかった自慢や自慢の理由などがあることを知らせる。</p> <p>○ 今までの学習で自分がどう成長したかを振り返らせ、自分のよさを自覚し、さらに伸びようとする意欲を持てるようにする。</p> <p>○ 子どもたちががんばったことを賞賛し、満足感や成就感を味わわせる。</p> | <p>る。</p> <p>・アドバイスを基に、内容を見直し、工夫・改善をしようとしている。 (行動観察・ワークシート)</p> <p>【考】相手に大蔵のじまんがよく伝わるように、工夫して表現している。</p> <p>・グループで大蔵のじまんがよく伝わるように、工夫して表現している。 (発表の内容)</p> <p>【生】書いていただいた感想文や学習したことを振り返り、自分の成長を実感している。</p> <p>・大蔵のまちに対する自分の思いの深まりを感じている。 (ワークシート・感想文)</p> |
|-------------|---|---|--|

5. 研究の実際と考察

(1) 主題に迫るための具体的な手立てについての研究の実際と考察

〔手立て1〕

- ・ 「つかむ」段階で、2年生の生活科や3年社会科「学校のまわりのたんけん」での学習をもとにした大蔵の「じまん」見つけの助言・支援。
- ・ 「さぐる」段階で、地域の人や店の人、各施設の人などへのインタビューや見学の仕方の指導。

〔手立て2〕

- ・ 「つかむ」段階で、調べたことを発表させる。「じまん」になる理由を考え、大蔵にはたくさんの自慢があることの気づきの確認。
- ・ 「さぐる」「伝え合う」段階で、自分の課題を協力して追求するグループ作り。
- ・ 「さぐる」段階で、個々のまとめからグループのまとめにするための話し合いでの助言。
- ・ 「伝え合う」段階で、考えの整理を図り、大蔵の「じまん」を全体でまとめる話し合い活動。

〔手立て3〕

- ・ 「伝え合う」段階で、個人やグループの発表会での付箋を使った相互評価。
- ・ 毎時間のふり振り返りから、児童の思考の広がりや深まりを見取った後の助言・支援

(2) 研究の実際と考察

〔手立て1〕

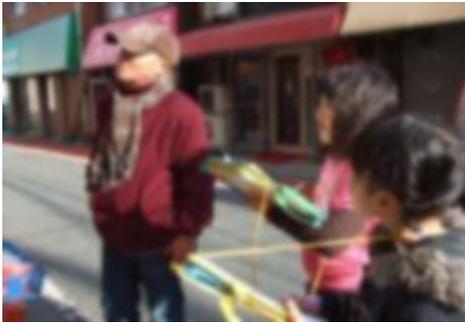
- 既習学習から、大蔵の「じまん」として、味の源、大坪製茶園、大蔵川、片岡フルーツ、サンキョードラッグ、市民センター、すぎのみ保育園、丸川青果、見守り隊などが上がった。

「じまん」は、

- ① 社会科学習から広がったサンキョードラッグ、片岡フルーツ
- ② 児童の生活に身近な見守り隊、大蔵川、市民センター
- ③ 生活科の学習が活かされた味の源、大坪製茶園、すぎのみ保育園、丸川青果

に分けられる。

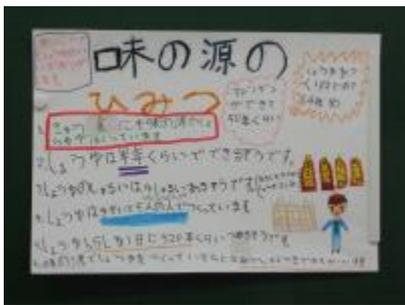
- それぞれの施設や店に行き、見学やインタビューをした。見守り隊については円城寺さん、大蔵川については土佐野さんの代理で教頭先生にゲストティチャーとしてインタビューに答えていただいた。
- インタビューの内容をあらかじめ考えておいたので、現地での活動がスムーズにできた。また、友だちのインタビューを聞き、新たな質問を投げかけることもできた。



〔手立て2〕

- 自分が調べたことを四つ切画用紙にまとめた。一人一人が「じまん」の理由を考え、相手に伝えやすいまとめ方や発表の仕方を考えた。

まとめ方については、社会科での経験を生かし、まず、個人で取り組んだ。出来上がったものは、友だち同士で見合い、アドバイスをもらい手直しをしたり、個人発表の練習をしたりした。伝える相手を意識したまとめ方ができるようになってきた。



- 個人での発表後、課題別グループに分かれグループ発表（掲示資料、ペープサート、劇化など）をした。



[手立て3]

- ・ 発表展示会では、個人の画用紙に付箋をはったり、グループ発表では、取ったメモを見合う活動を取り入れた。
- ・ 保護者へのアンケートでは、ベスト3を書きいただき集計したものを児童に提示した。理由を話し合い、自分たちとの共通点や相違点を話し合った。

